

中性改質材 マジカルフィックスN型

NETIS登録
KT-150047-A

マジカルフィックスN型とは

マジカルフィックスN型は、天然鉱物焼成物をベースとした複合材料で構成され建設現場などから発生する残土（排泥など）のpHを中性域で改質する中性改質材です。

マジカルフィックスN型の特長

処理土壌を中性域に保持することが可能従来の生石灰やMgO系の改質材と異なり、独自にブレンド・焼成した複合材料の為、処理土壌のpHを中性域に保持することが可能です。周辺環境に優しい設計です。

早期に固化・安定化

コーン指数が200kN/m²程度の土壌に対し、マジカルフィックスN型を混合することにより材齢1日で第4種改良土以上に改質することが可能です。

用途

シールド工事で発生する残土（排泥）の中性域での改質

例) 原土pH=8.4→改質後pH=6.3~6.6 (右表参照)

軟弱土壌の強度増進

例) $q_c=200\text{kN/m}^2 \rightarrow 800\text{kN/m}^2$ に改質 (右表参照)
(材齢1日で第2種~第4種改良土に改質可能)

自然由来土壌の不溶化

例) 「優れた重金属不溶化性能 (例)」参照

取扱い注意事項

〔使用上の注意〕

- 取り扱いの前に必ずSDSを確認し、指示に従う。
- 目および皮膚への接触を避けるため、必ず適切な保護具を着用する。
- 使用中は粉塵の飛散、河川や周辺水域への流出を防止する施策を講ずる。
- 土との混合によりガス等が発生した場合は速やかに作業を中断する。
- 事前に配合試験によって適切な添加量を決定すること。また施工中に土質が変わった場合は改めて室内試験を行って添加量を調整すること。
- 他の材料と併用・混合する場合は、事前に室内試験を実施し安全などの確認をすること。

〔保管上の注意〕

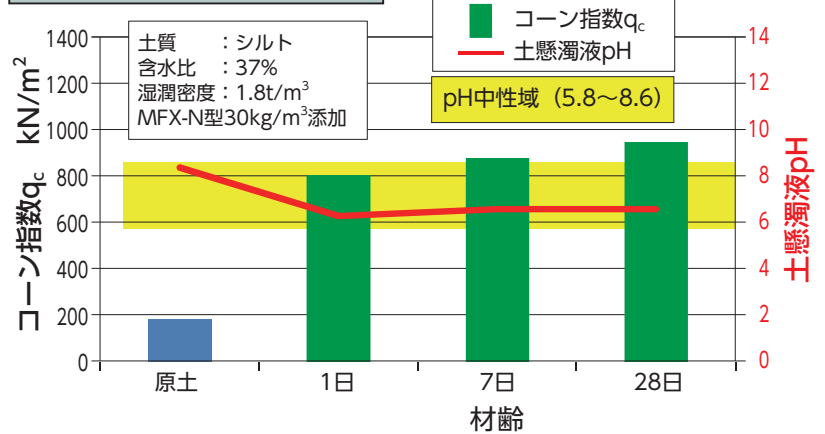
- セメントを貯蔵する場合と同様の保管法とする。
- 施工現場においては地面などに直置きせず、パレット等の上に置き、降雨湿気から遮断する。



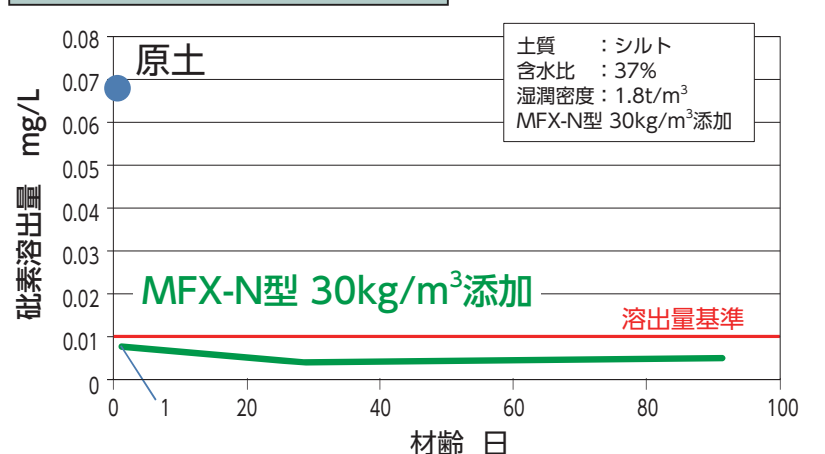
マジカルフィックスN型の仕様

形状	粉末 (かさ比重0.8~0.9)	
pH	粉末	6~10
	処理対象土	3.5~10
	処理後	5.8~8.6 (中性域)
組成材料	カルシウム/マグネシウム系複合材料	
荷姿	フレコン、バラ	

優れた土壌改質性能 (例)



優れた重金属不溶化性能 (例)



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

※表記のデータは試験結果の一例であり、保証値ではありません。